



医療現場が変わる？

～次世代医療基盤法と 医療ビッグデータ～

次世代医療基盤法が平成30年5月に施行されました。関連ガイドラインも発布され、医療ビッグデータの構築とその利活用の法的基盤が整いました。この機会に本分野の有識者にそれぞれの視点からご講演をいただき、医療ビッグデータに期待される成果と課題、医療現場への影響等について議論いたします。

2019年 **1月20日** (日) 13:30～17:00 (13:00 受付開始)

会場：和歌山県立医科大学 生涯研修センター (図書館棟 3階)

定員：100名 (先着順)

資料代：1,000円

プログラム

13:30～13:40 <開会挨拶>

13:40～14:30 **講演1 「次世代医療基盤法と同意に関する考察」**

山本隆一 (一般財団法人 医療情報システム開発センター 理事長)

14:30～15:20 **講演2 「医療ビッグデータの利活用に期待されるもの」**

山本景一 (和歌山県立医科大学附属病院 医療情報部 部長・准教授)

15:20～15:35 <休憩>

15:35～16:25 **講演3 「医療ビッグデータ構築と利活用の現状と課題」**

石川広己 (公益社団法人 日本医師会 常任理事)

16:25～16:55 <総合討論>

16:55～17:00 <閉会挨拶>

(敬称略)

*医療情報技師ポイント：1ポイント付与

主催：NPO 法人 和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 (wamina)

E-mail info@wamina.jp Web サイト <http://www.wamina.jp/>

後援：和歌山県、和歌山県情報化推進協議会、(一社)和歌山県医師会、(一社)和歌山県歯科医師会、(一社)和歌山県薬剤師会、(公社)和歌山県病院協会、日本医療情報学会関西支部、関西医療情報処理懇談会、関西医療情報技師会、(一社)和歌山県介護支援専門員協会

講師プロフィール

山本隆一氏

1952年大阪市生まれ。大阪医科大学を卒業後、大阪医科大学第1内科、2003年3月より東京大学大学院情報学環准教授、2013年東京大学医学系研究科医療経営政策学講座特任准教授、2016年一般財団法人医療情報システム開発センター理事長と自治医科大学を兼務。研究内容は、医療情報の安全管理、医療におけるプライバシー保護のあり方、医療における公開鍵基盤の応用、医療従事者の権限管理モデル、医療コミュニケーション論等。

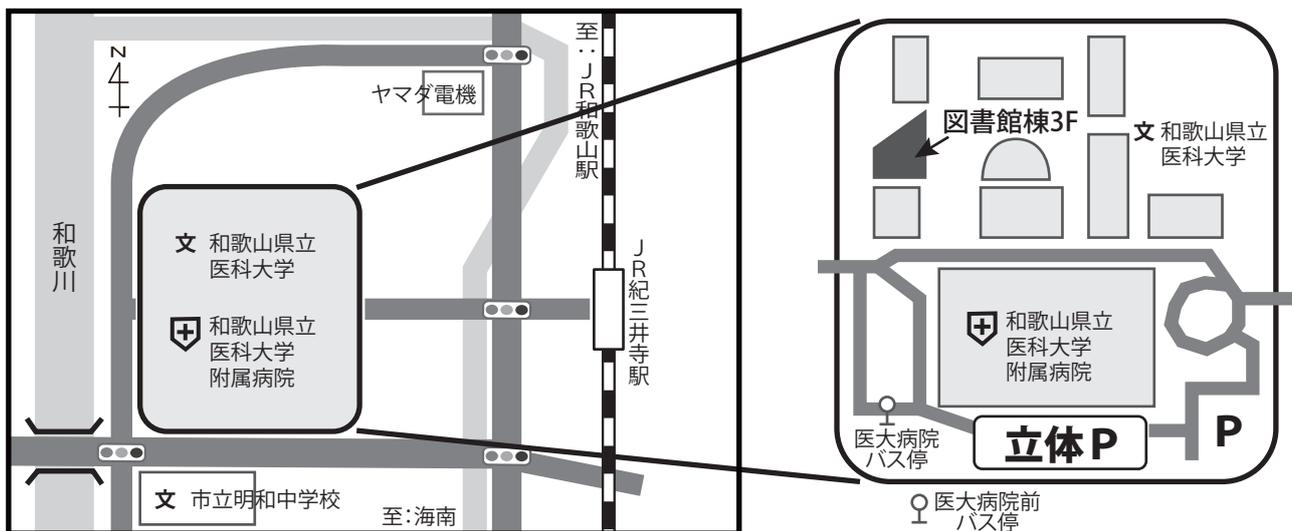
山本景一氏

1968年神戸市生まれ。日本アイ・ビー・エム他のIT企業を経て、京都大学医学研究科臨床試験管理学分野で学位取得。2018年4月より和歌山県立医科大学病院医療情報部長・准教授に着任。和歌山医大病院の病院情報システム運用管理、アカデミアにおける臨床研究支援、電子カルテを利用した臨床研究方法論の研究を行う。

石川広己氏

1953年千葉県生まれ。千葉県鎌ヶ谷市の内科・小児科「かまがや診療所」院長として地域医療を担いつつ、鎌ヶ谷市医師会副会長、千葉県医師会理事を経て、2010年より日本医師会で常任理事を務める。日本医師会では、医療政策、情報、救急災害医療、日医総研を担当。患者の個人情報保護を重視しつつ、医療等分野専用ネットワークや医療等IDの創設などに取り組む。

会場へのアクセス



参加申込書

お申込み方法 必要事項をご記入の上、E-mailでお申込みください。
または、下欄にご記入の上、FAXでお申込みください。

締め切り 2019年1月17日（木）

お申込み先 E-mail : info@wamina.jp FAX:073-488-7316

※定員（100名）になり次第、締め切らせていただきます。

お名前	ふりがな	ご住所	TEL	
	<input type="checkbox"/> 医療情報技師	ご所属	E-mail	
お名前	ふりがな	ご住所	TEL	
	<input type="checkbox"/> 医療情報技師	ご所属	E-mail	

※医療情報技師の方はチェックを入れてください。